

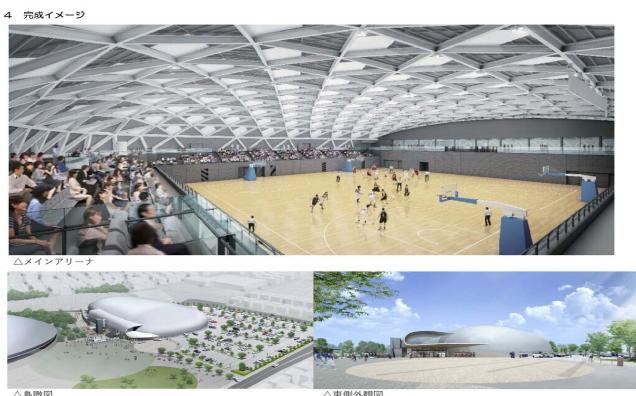
千葉公園総合体育館の概要を中心とした

～～～千葉市スポーツ推進課とのスポーツ施設改善等要請行動～～～

毎年実施している、千葉市市民局生活文化スポーツ部スポーツ推進課との懇談会を1月30日（月）の11時から約1時間かけて行いました。

スポーツ振興課からは、神田稔部長以下内谷課長、伊橋課長補佐、吉田主査の4名。連盟からは、園川理事長、佐々木事務局長、吉田理事の3名が出席。冒頭、全国連盟機関紙「スポーツのひろば2022年12月号、2023年1・2月号」県連盟機関紙「Sports Net ちば2022年11・12月号、2023年1月号を渡してから、昨年暮れに千葉市長宛て提出しました「スポーツ施設改善等の要請について」に基づき一問一答形式で回答を確認しました。

その中で、今年4月中旬に供用開始となる千葉公園総合体育館については、利用料金や駐車場に



について関心が高いこともあり詳しい説明と共に資料を頂きました。

回答によると、当該施設は主に市民が利用する施設であることを念頭において建てられたものであることから、利用料金は、一部料金体系が旧施設と比べ変更したものがあるものの、既存の市内公園施設等の水準に合わせた設定であること。

ただ駐車場については、スポーツ推進課としては無料化を上層に進言したものの、受益者負担の観点から有料化せざるを得なかつたとの説明にはスポーツ推進課の努力を垣間見た思いがしました。

なお、同体育館付帯の駐車場は、供用当初は隣接するティップスタードーム駐車場を開放、8月1日にメイン駐車場が供用開始となるが、できるだけ公共交通機関（モノレール等）を利用して来場頂きたいとの切なる回答が寄せられました。

一方、他の類似施設と比べると高額な冷房料金について減額要求の声が高い千葉ポートアリーナについては、同施設はイベント（興行）を目的としていることから料金体系が他の市の施設とは別格の設定となっているので減額要求は難しいとの回答には、自治体は住民の為にスポーツ施設を用意しなければならないというスポーツ基本法の趣旨とは相いれない感を強くしました。

また、要請のポイントの一つでもあるスポーツ予算の過去5年間の推移を明示して頂きたいとの要請には、予算編成中であることから今後出る「予算編成過程の公開」を確認ください、との回答と併せ、過去5年分の生活文化スポーツ部の予算概要を頂きました。その中でも千葉公園体育館整備事業に多くの税金が費やされていることが確認されました。

改善要求詳細については別途連盟HPに掲載しますが、私たちが提出した改善要請内容は、その多くが公園管理課に属するものであるにもかかわらず真摯に対応頂いたスポーツ振興課関係者の方々には感謝を表するとともに、今後共市民スポーツ施設充実の為、市民目線に立った行政を望みたいものです。

懇談会の最後に2025年11月に予定している全国種目別選手権テニス大会会場（フクダヒルズコート）の優先利用を申し入れ前向きに検討して頂けたことを確認しました。

3年ぶりの再会に歓喜 千葉県スキー祭典



志賀高原に響く楽しい声・・

2月10日から13日までの2.5泊で3年ぶりの千葉県スキー祭典が開催されました。

過去2年間はコロナ禍のため、



やむなく中止にしてきましたので、待ちにまつたツアーという

ことで参加者のテンションも高く、ゲレンデも宿泊先のホテルでも楽しい声が広がっていました。

今年の祭典には、数年ぶりに小学生2人、未就学児2名、4名のお子さんも参加し、おじいちゃんおばあちゃん年代の多い中、笑顔を振りまいてくれました。

スキー祭典では、安全に楽しく滑るため、参加者の方をいくつかの班に分けて、レッスンやゲレンデガイドのようにして滑っています。

今回は、8つの班に分けて滑りました。



本田班では技術向上を目指す、頑張り屋さんが、

本田さんの厳しくも温かいレッスンを受けていました。

千葉県勤労者スキー協議会の会長でもある東山さんの班は、比較的初級者が多かったこともあり、ポジションやフォームなどにも重点を置いた、基礎的技術を身につけることに重点を置いて滑っていましたが、ちゃっかり（？）信州の山々が一望できる寺子屋スキー場にまで足を伸ばしていたようです。

東山班
基礎技術やポジションなど基礎的な内容とともに景観ハントも。。。



児玉班は、志賀高原を縦横無尽に滑り抜けていました。

リーダーの児玉さんの方向音痴がやや心配ではありましたでしたが、参加者の皆さんアシストで、無事、宿にも帰着できたようです。



児玉班
楽しく滑ることで定評のある児玉班はゲレンデガイド中心です。



喜来班
初級者クラスでしたが、あちらこちらガンガン滑っていました。。。

このメンバーでジャイアントにイケルのかの声をよそに、ジャイアントからサンバレーまで、翌日は焼額・奥志賀に足を伸ばしていました



私はスキーをするのは今回が初めてで、行く前から楽しみにしていました。

最初はスキー靴に慣れるようにしてから、スキーを滑りましたが、滑る前は怖かったけど、教わって滑れた後は、スキーで滑るのが好きになりました。

1日半しかスキーを滑ることができなかつたけれど、みんなとたくさん滑ることが出来ました。

佐々木さん、鳴海さん、藤本さん、スキーを教えて頂きありがとうございました。

是非来年もスキーに参加したいと思っております。
よろしくお願ひします。

高尾 美由希



佐藤班
きちんと体操もして、あくまで真面目にレッスンをしていました。



比較的初心者初級者の多かった佐藤班では、基礎的な内容をしっかり繰り返す真面目なレッスンをしていました。

今回のスキー祭典、最高齢の参加者でした、
今回が最後かなと思いながら参加を続けてきました。

安心して滑れるスキーが出来たらいいなどの思いで参加しました。

東山教室で思いどおりの指導を受けることが出来てとても良かったです。気が付いたら恐怖心も年齢も忘れて滑っていました。

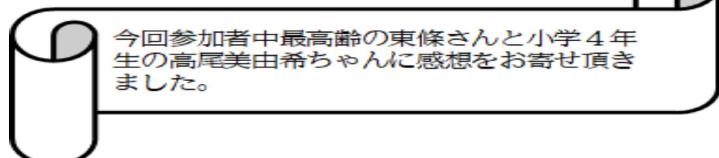
高齢を目標にしているよ、と言われて嬉しかったですが、子供のころ戦争中で食べる物も無く空腹で何でも食べたし、よく食べた、それを続けて來たので長生きに？

ホテルのバイキングの料理が少ない日があり残念でした。

朝から風呂を楽しめたこと、ゲレンデの近くだったこともよかったです。

次の参加も目指し体調を整えたい。実行委員会のみなさん有難うございました。

東條 春昭



美由希ちゃんは、1日半という短い日程の中で、2日目には一人で滑れるようになり大変喜んでくれました。東條さんは持ち前の脚力で安定した滑りをしていました。



常任理事会 報告

2月17日(金) 今年度9回目となる常任理事会を県連盟事務所で開催しました。

報告事項

- ・2/10-13 千葉県スキー祭典
(志賀高原 51名参加)
- ・千葉県・千葉市から要望書に対する回答が来る
- ・千葉県、千葉市のスポーツ施設、行事等の調整会議が開催され、県連盟関係の使える施設日程が明らかになった
- ・2月11日 全国連盟評議員会(田久保副理事長が書記役)

【千葉県】

- ・スポーツ科学センター：卓球、野球、県連盟申請した会場全て確保

- ・野球場：4日、軟式野球場：3日を確保
- ・テニスコートは改修中

【千葉市】

- ・ポートアリーナ(サブアリーナ)：1日
- ・千葉公園総合体育館：2日
- ・花島公園スポーツ施設(体育館)：6日
- ・磯辺スポーツセンター(体育館)：2日
- ・宮野木スポーツセンター(体育館)：4日

今後この確保状況で大会開催計画を立案する
昨年より確保状況が悪化

協議事項

- ・3月30日に総会に向けての理事会を開催する。それまでに、総会議案(方針、総括、情勢、予算決算等)の討議を完了する。
- ・竹村財政部長より提案のあった予算決算案について検討一部訂正の上了承。
- ・SportsNetちば3月号、4月号の掲載内容について

スポーツアラカルト

2月10日、関東に大雪警報が出た朝、S理事長よりスポーツアラカルト3月号の執筆の依頼がありました。

原稿の締め切り日まで2週間、あわてて資料を探していましたら、丁度2022/7.8のスポーツのひろばに全国各地の卓球協議会役員の方々が執筆された「私の卓球人生」を見つけました。

私が以前に投稿した内容によく似た文章もあり、同じような体験者の仲間も相当数存在するようです。

各県卓球協の役員のみなさんは輝かしく立派な卓球の経歴をお持ちです。

私などとても足下にも及びませんが....。

2014年一般の部全国大会千葉ポートアリーナでの開催が千葉県卓球協議会との関わりの始まりでした。

所属クラブのK代表から半強制的に大会の卓球台設置要員を1~2年ということで引き受けました。ところが実際には大会運営ましてや全国大会の団体戦組合せ担当など、全国各県の代表チームや主力選手の名前も情報もないまま作業をしました。

ずいぶんと乱暴なやり方で、今考えれば冷や汗もので。全国協議会のIさんの的確なアドバイスのおかげで、関西地区から少しクレームはありました

が、何とかクリアできました。

当時千葉の役員をされていた木更津のOさんはじめ、諸先輩方の厳しい中にも愛情?あるご指導に右往左往の3日間でしたが、貴重な経験になりました。

あれから今年で9年になりました。私事ですが、国民健康保険証の色が変わり、後期高齢者の仲間入りをした途端、卓球のやり過ぎで、昨年末、椎間板ヘルニアを発症し、一時歩行も困難な状態でしたが、2ヶ月が過ぎ、リハビリの効果もあり、どうにか卓球練習に参加できるまで回復しました。

そこで先日参加した冬季卓球大会での心に残る出来事を紹介したいと思います。

Cランク(私とほぼ同年代)対戦チームとの近況報告の会話中「あの方が亡くなった」「誰それが病気で、今日不参加」等。その時どなたかが「この年齢になると、こうして卓球大会に参加できることが勝ちだね」と発言されました。

その場の全員がガッテン!!

まだ、コロナ対策は続くようですが、全国大会だけでなく地区大会にアマチュア卓球人がたくさん参加して楽しくゲームが出来ますように、千葉県卓球協議会役員一同、しっかりスクラムを組んで運営して参りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

卓球協議会事務局長 山口順

第21回千葉・青葉の森リレーマラソン 5月21日(日)に開催します

多くの皆さんの声援をお願いします

千葉・青葉の森リレーマラソンは、昨年、コロナウィルス感染予防に注意を注ぎながら第20回となる記念の大会を開催してきました。

参加チームが約90チームと例年に比べ少なかつたものの記念大会に相応しい賑やかさで開催することができました。

今年は昨年を大きく上回る規模で成功させようと、ランニングクラブの面々が早くから準備を重ねてきました。

会場である青葉の森公園の許可申請や千葉県



教育委員会への後援申請なども着々と進め、募集を開始。すでに110チームの参加申込みを頂

千葉県教育委員会からの
後援通知書

新日本スポーツ連盟千葉県連盟
理事長 園川 峰紀 様

教保体第1458号
令和5年2月27日

千葉県教育委員会
(公印省略)

第21回千葉・青葉の森リレーマラソンの後援について(通知)

令和5年2月22日付けで申請のあったことについては、後援することとしたので「行事の共催及び後援に関する規程」第4条第2項の規定により通知します。

承認後、事業を中止した場合又は事業計画を変更した場合は、直ちに届け出が必要となります。

また、事業終了後、速やかに第2号様式により実施報告書を提出願います。

いています。

数多くのランナーにご参加いただける大会ですが、当日運営するスタッフが足りないのが悩みです。

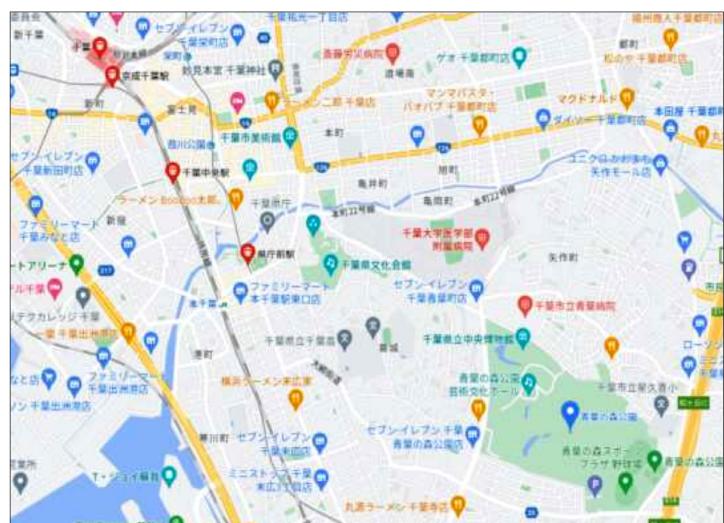
*当日運営をお手伝いいただける方がいらっしゃいましたら、県連盟事務所へご連絡下さい。

家族連れでおいでください

会場となっている青葉の森公園は約54ヘクタールの敷地に、千葉市に残された貴重な樹木及び自然の地形をできる限り生かし、人々がうるおい、やすらげるよう、緑に調和した文化の香り高い自然鑑賞やレクリエーションだけでなく、文化・スポーツといった機能もあわせもった公園です。

ご家族連れでお出でいただき、公園散策を満喫してください。

そして、選手の皆さんへおおきな声援をお寄せください。



○JR千葉駅東口より2番のりばで千葉中央バス「鎌取駅行」「大宮団地行」「千葉リハビリセンター行」のバスに乗車「青葉の森スポーツプラザ」下車。

○JR蘇我駅東口より2番のりばで千葉中央バスまたは小湊バスでJR千葉駅行乗車「松ヶ丘十字路」下車。徒歩3分。

SPORTS CALENDAR

3月

4月

- 3月 4日（土） テニス チーム対抗
3月 5日（日） 野球協 リーグ戦
3月 11日（土） 春季テニス大会
3月 12日（日） 祭典・空手大会
　　野球協 リーグ戦
　　春季テニス大会
3月 15日（水） 卓球スリーダブルスお花大会
3月 19日（日） 野球協 リーグ戦
　　春季テニス大会
3月 21日（火・祝） 野球協 リーグ戦
　　春季テニス大会
3月 26日（日） 野球協 リーグ戦
　　春季テニス大会

- 4月 23日（日） テニス 370チーム対抗男子
4月 30日（日） テニス 第16回なのはな大会

4月 15日（土） 県連盟総会 天台スポーツ科学センター

Jリーグ 30周年を迎える

この5月で30周年を迎えるJリーグ。多くの成果を日本にスポーツ界に残してきました。

未だ記憶に新しい昨年ドーハでのFIFAワールドカップでは世界の強豪チームであるドイツ・スペインを破り決勝トーナメントにコマを進め、ベスト8の夢はかないませんでしたが、日本のサッカーが世界でも十分戦えるレベルに達していることを示してくれました。

この様に世界で闘える選手や、海外のチームで活躍する日本人選手も数多く輩出してきたことは、Jリーグがこの30年間地域に根差した地道な活動を続けてきた結果であることは誰しも否定できないでしょう。

発足当時1年目は10チーム、現在60チームにまで増えていることはその証と言えると思います。

特に、フェアプレーの大切さを重要視してきたことがJリーグの発展に寄与してきたことは世界に誇れる日本サッカー的一面とも言えます。

C大阪・柿谷曜一朗選手と広島・佐藤壽人選手。二人は共に警告、退場が無く「フェアプレー個人賞」を2013年に受賞。異口同音に

「サッカーは相手を思いやる心（リスペクト）が必要だ」と語っています。また、Jリーグはピッチの外でも「人種差別をなくす活動」に積極的に取り組んでいます。

浦和レッズサポーターの一部がスタンドに「JAPANESE ONLY」という差別的な横断幕を掲げた事件があり、即座に適格な対応を取ったこともその表れと言えます。

一方、新スポ連・サッカー協議会もフェアプレーを重要視していることは言うまでもありません。ただ、現状は活動自体が厳しい状況にある協議会も散見されます。

そんな中、千葉県連盟・サッカー協議会では現状打開を図るべく発送転換を図り、男女混合サッカーのリーグ戦が出来ないものかとトライアルを実施しています。

現在スポーツ界ではジェンダーフリーの考え方方が各方面で検討・実施されています。世界の女子サッカー界、特にアメリカやカナダでは男女平等を実現すべく「スト」も視野に入れ待遇改善を進めています。

このようにサッカー界を含めスポーツの分野では改革が進められていることもあり、今後10年、20年がどのように改革が進むか興味が尽きません。



理事長の独り言